

正論

EUJISANKAI
COMMUNICATIONS
GROUP
OPINION MAGAZINE

SEIRON
2021 **8**

特集

「平時」からの脱却

菅首相に求む安保の有言実行 櫻井よしこ
対中非難決議阻む国会の闇を告発する 長尾 敏

なぜアビガンは承認されないのか 本誌編集部

厚労省審議会非公開議事録全文掲載 八幡和良

武漢ウイルスとの戦い 日本は敗北したのか ×木村盛世

特集
切り崩される保守

LGBT法案で残念な稲田朋美氏 阿比留瑠比
左傾化する自民党を恥じる 西田昌司
日本共産党の同性愛差別史 松崎いたる
人権屋、がのさばる入管行政 西岡 大
ウイグル人救えた入管法改正案 三浦小太郎

特集
自衛隊は
便利屋にあらず

菅首相、自衛官に名誉と誇りを 犬伏秀一
「よろず屋」扱いでいいのか 小笠原理恵

特集
メディア
ぶった斬り

産経新聞が「ダメな」根源的理由 吉田信行
日経新聞・杉山大志 / 朝日新聞・酒井信彦

菅首相、自衛官に 名誉と誇りを



拝啓 内閣総理大臣 菅義偉さま

昨年九月、突然の安倍晋三総理の辞任から総理大臣に就任されたあなたは、官房長官時代の雰囲気とは違い『裸の王様』になってしまった、と危惧するのは私の思い過ごしでしょうか。

私は区議会議員を六期務め、石原慎太郎氏と共に衆議院総選挙に二回立候補いたしました。自由

民主党に籍を置いたことは一度もありません。しかしながら、対案も出せない無責任な野党に比べ、自民党のほうが「まだマシ」と、たちあがれ日本、次世代の党と所属政党が名称を変え、消滅した今では、自民党の消極的応援団を自任しています。

左から右まで幅広い人材が揃っている貴党の中でも、安倍前総理や菅総理の保守本流と思われる政

治姿勢に、私は強いシンパシーを持っています。次世代の党と一緒に活動した国会議員の多くが貴党に移り、彼らの政治パーティーなどで総理にお会いする機会が度々ありましたが、その都度、一地方議員の私にも気さくに話しかけていただくお姿は、「庶民派」との言葉がピッタリでした。

ところが、最近のあなたはどうされたのでしょうか。報道などで

耳にする総理の「独断専行」の姿勢には、庶民派の菅さんらしさのカケラも感じられないのです。総理大臣というお立場があなたを変身させたのか、それとも、本来の菅さんの姿なのか。今日は、私の古巣である自衛隊が開設した「大規模接種会場施設」という側面から、甚だ僭越ながら自衛隊最高指揮官たる総理にお手紙を差し上げようと決意いたしました。

最近、自衛隊は大人気です。鳥インフルが発生してニワトリさんを殺処分するのも自衛官、東日本大震災の際に原発上空で命がけでヘリにより放水したのも自衛官、ワクチン接種で医師が足りなくな

れば自衛隊医官！これをイカン、と言うつもりはありません。自衛官は命令が下れば「国民の笑顔を取り戻す為」に、喜んで「危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務め、もつて国民の負託にこたえる（自衛官服務の宣誓）」覚悟を持っているのですから。

が、果たしてその覚悟に対して、総理をはじめ為政者は真面目に評価しているでしょうか。いまだに、違憲との指摘を払拭出来ないのは政治の不作為ですし「国際法上は軍隊だが、国内法上は軍隊ではない（内閣法制局見解）」等という詭弁は、自衛官に対して甚だ失礼であります。

比してあまりにも低いのが実態です。一部部隊においてトイレットペーパーを隊員が自費で買っていた問題がクローズアップされましたが、自衛官が職務に使う多くの物品が官品（国費）ではなく私物（私費）なのです。

東日本大震災では、自衛官の活躍が大きく報道されましたが、彼等の災害派遣手当は日額千六百二十円、同じように災害派遣されている警察官や消防官と違い自衛官には残業手当はありません。また、ご遺体を発見した場合は日額千円が加算されますが、使命感頼み以外のなものでもない少ない金額です。

災害派遣された自治体側の対応にも問題がありました。本来の人命救助だけでなく、ガレキの撤去から果てはゴミ処理まで自衛隊に

民間との絶望的な格差

自衛官の諸手当は、その職務に

いぬぶし・ひでかず 昭和三十一年生まれ。航空自衛隊生徒十八期生、放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了。

依存するのは如何なものでしょうか。自衛隊でしかできないことに特化して災害派遣の指示を行わないと、自衛隊の本来任務である「国土防衛」にも支障が出てしまいますし、自衛官の士気にも影響いたします。

そして今回、総理の肝いりで武漢ウイルスワクチンの大規模接種会場の運営を自衛隊に任せました。医師、看護師の資格を持つ自衛官約二百八十名が動員され、日々接種がトラブルなく行われています。先日、政府は、この接種に関わる隊員に特殊勤務手当を支給することを決定いたしました。金額は医官、看護師が月額三万円、その他の支援隊員は月額千六百二十円だそうです。仕事は金額ではない、といったつも民間に比べてあまりに低い金額に「安上が

りな自衛隊」と思われているのは、と憤りを感じています。

自治体の依頼により、民間の診療所、クリニックがワクチンを接種すると一回あたり基本が二千七十円、これに百回以上接種すると二千円加算で一回四千七十円、さらに百五十回以上だと三万円の加算がきます。一回あたりです！病院の場合は、医師は一時間七千五百五十円、看護師は二千七百六十円が支給され、一日当たり五十回以上接種すると一日十万円が病院に支給される仕組みです。

また、医師専用の求人サイトには、自治体でのワクチン接種のアルバイト募集が花盛りで、日給十二万円とあります。

いつでも、どこでも、なんにでも活用出来る自衛隊、自衛官、物言えぬ彼等に代わって、総理に申

し上げたい。自衛隊は政権の便利屋ではないのです！

実際に大規模接種会場へ

さて、今回の大規模接種の法的な根拠はなんでしょうか。調べてみて驚きます。自衛隊病院の外来診療が根拠だそうです。大規模接種東京会場は、世田谷区にある自衛隊中央病院の外来診療の延長。大阪会場については、大阪府内に自衛隊病院がなく、急遽、自衛隊による診療所開設許可を大阪市に申請するという、ほとんど超法規的処理を行っています。

自衛隊は武力集団であり、また行政機関でもあります。したがって、その行動には必ず法的根拠が求められてまいりますし、特に「軍隊を動かす」ことは高度な政

治的判断と根拠法が絶対条件になるのは、聡明なる総理はご存じだと思います。

自衛隊の任務については自衛隊法第三条にざっくりと規定されています。そして、内閣総理大臣は「国防に関する重要事項」については国家安全保障会議に諮らねばならぬ、と定められています。今回、自衛隊による新たな診療所を開設し医官約八十名、看護師、看護官計約二百名を動員する自衛隊史上初の「医療大作戦」にあたり、総理が国家安全保障会議に諮ったという事実は聞こえてまいりません。

報道などから類推する限り、総理が「自衛隊を使う案」を四月二十七日に岸信夫防衛大臣に面談指示し、大慌てで防衛省が段取りをした、これが実情でしょう。私

は、自衛官が国民のために汗を流すことに異を唱えるつもりは毛頭ありません。が、自衛隊の最高指揮官たる内閣総理大臣の「思い付き」で自衛隊を動かした今回の措置には、大きな憂いを持っています。自衛官は、官邸や防衛省の命であれば、それが超法規であろうが従う基本姿勢を教育されています。意見具申という制度はあるものの、命令に対しては極めて従順な組織であると思います。その従順さをいいことに、安上がりでなんでもできる下請け、として使われてはあまりにも現場の自衛官が哀れであります。自衛官は政権の私兵ではありません、と総理に強く申し上げたいのです。

さて、せっかく総理が無理やり設置した大規模接種、私の古巣である自衛隊が活躍する場を応援す

る気持ちから、私自身（高齢者です！）、地元の接種には申し込まずに自衛隊東京大規模接種会場で接種を受けてまいりました。全国の自治体の接種の失敗例、成功事例を集約して検討した、というだけあって、接種会場は肅々清々な人の問題もなく稼働していました。自衛隊の医官、看護師であることがわかる胸のID（身分証明書）を見ると、心から安堵感を感じたのは私の身内びいきではないと思います。

しかしながら苦難はそれから襲ってまいりました。いやはや、凄しい副反応に悩まされて接種後二日間は体中が痛く、眠ることができませんでした。これは自衛隊が悪いわけでも、モデルナ製ワクチンに問題がある訳でもありません。見かけは若い（？）私の免疫細胞

が活発に活動してくれている成果だと、およそ一週間続いた倦怠感、発熱、筋肉痛に耐え抜きました。老婆心ながらご報告いたしますが、この副反応につき地元の医療機関を受診しようとする「自衛隊コールセンターに連絡して」と受付を断られ、コールセンターに連絡すると「地元の医療機関を受診するように」と、たらい回しにあつてしまいました。

止む無くワクチン接種の話はせずに地元医療機関で、筋肉痛の薬と解熱剤を処方していただきました。大規模接種会場の副反応への対応は改善の余地がある、と辛い経験から強くお訴えいたします。

余りものが自衛官に

五月二十一日、厚労省は特例承

いいのかもしれませんが。

さらに、政府は警察、消防、自衛隊、海上保安庁などの公安系公務員の接種を大規模接種会場の空いた枠で実施することを決めました。この結果、「人体実験扱い」だった自衛官にも優先接種の門戸が開かれましたが、これは、たまたま「余りもの」が出たから、おこぼれを自衛隊に回したにすぎません。自衛官をバカにするな！ふざけるな！と、自衛隊の最高指揮官でいらっしやる総理にしつこく、改めて申し上げたいと思います。

法に規定なき「軍隊」の苦悩

次に、自衛隊関連の法整備の瑕疵から現場の自衛官が苦勞していることも総理にお知らせしておき

認されたモデルナ社製ワクチンについて、自衛官を対象に接種後の健康調査を実施することを決定いたしました。これは、モデルナ社製ワクチンの接種後の状況などを国民に知らせるための措置である、と説明しています。自衛官の希望者一万人に対してモデルナ社製ワクチンを接種し、接種後の健康調査をするということです。

消防職員や消防団員が優先接種の対象であるのに、自衛官は「健康調査のため」、つまりは体のいい人体実験に使われるというのです。なんとバカにした話ではないでしょうか。

厚労省にすれば、「希望者という建前での命令」に従順な一万人は、喉から手が出るほどありがたい存在でしょう。

ところが、総理の「一日百万回

ましよう。

まずは、自衛隊初の海外実任務となった「ペルシャ湾掃海派遣部隊」についてです。これは、湾岸戦争停戦後のペルシャ湾における我が国艦船の安全運航を確保するため、機雷を除去するというものです。根拠法は自衛隊法第八十四条二で、平時の通常業務として命令が発出されました。この部隊指揮官となった落合峻氏は退官後、次のように語っておられました。

「政府、防衛庁（当時）からは、一人も犠牲者を出すな、と厳命された。が、犠牲者が出ないMission（作戦）はあり得ない。万一、犠牲者が出た場合、ご遺体を懇ろに納棺して日本まで運ぼう、と一部幹部のみに知らせて、棺桶十二個を艦内船倉奥深く

接種」の掛け声のせいか、自治体などの接種拡大により、自衛隊大規模接種会場の接種予約に空きが目立ってきてしまったのです。六月十日現在、六月二十一日以降の大規模接種会場の予約枠は東京会場が九三・一％、大阪では九三・七％と、ともに九割超、つまりほとんど空いているのです。

そこで、大規模接種会場での接種対象者の居住地を全国に広げました。はたして、全国から東京や大阪に高齢者がワクチン接種に来るでしょうか、疑問です。また「東京に來ないで！」と記者会見で声高に訴えていた元防衛大臣の小池百合子都知事、全国から「東京に接種に來る」今回の措置に文句を言わないのでしょうか。まあ緑のおば様は「自分ファースト」のご都合主義ですから、どうでも

忍ばせて出航した。幸い、一人の犠牲者も出ず無事帰国した」（発言要旨、文責筆者）

根拠法の整備が間に合わず、米国にセツかれた結果、「取り合えず」海上自衛隊を出して「犠牲者を出すな」と極めて無責任な要求をした事例です。総理には是非とも、この落合峻氏の作戦日誌「湾岸の夜明け作戦」（防衛省のウェブサイトに掲載されています）をご一読いただき、自衛官がいかなる覚悟で任務遂行にあたっているか、ご理解いただきたいと思えます。

もう一例、超法規的作戦をお示しいたしましょう。

これは、二十四年前の平成九年のことです。鹿児島県の離島、下甕島に中国人二十名が不法上陸を行いました。島には警察官が二名

しか常駐しておらず、警察から捜査協力を受けた島に所在する航空自衛隊第九警戒群（レーダーサイト）司令は上級部隊と協議の上「野外訓練」との名目で、航空自衛官を出動させ、不法入国者捜査に協力したのです。

ところが、後日、朝日新聞の知るところとなり「自衛隊法違反」と報道され、防衛事務次官が「適切さに欠けた」と陳謝するはめになりました。我が国の平和と独立を守る武力集団が、現場指揮官の法解釈ギリギリのところで「野外訓練」としなければいけない現状（当時）と何も変わっていません）を、是非、最高指揮官たる菅総理大臣に認識いただきたいと思っています。

日本共産党は新綱領において、自衛隊は違憲であり、将来の段階

的解消を明記しておきながら、何かあれば「自衛隊を活用する」と述べています。なんとご都合主義だ、と菅さんは笑うかもしれません。

が、総理をはじめ政権与党も実は日本共産党と同じ過ちを犯していることに是非気づいていただきたいのです。いったいいつまで、自衛隊の神学論争を続けさせるおつもりでしょうか？

自衛隊を憲法に明記せよ

総理、あなたが先進七カ国（G7）首脳会議出席のためイギリスまで搭乗された政府専用機、あれは航空自衛隊特別航空輸送隊所属であることはご存じだと思えます。では、コールサインはご存じでしょうか。Japanese Air-Force

001（日本空軍一号）と呼称して過日も、あなたと奥様をお乗せしたのです。

平成三十年十二月、韓国海軍の駆逐艦が警戒任務にあたっていた海上自衛隊哨戒機に対し火器管制レーダーを照射した事件がありました。知らぬ存ぜぬを決め込む韓国に対し、防衛省は映像、音声を公開しました。「こちら日本国海上自衛隊」と、哨戒機側からの英語での呼びかけが和訳されテロップで流されました。

「海上自衛隊」との訳は間違つて（わざと？）います。実際には英語で「This is Japan Navy（こちら日本海軍）」と呼び掛けたのです。また、陸上自衛隊の部内誌の名称は、なんと「ARMY（陸軍）」です。もはや、自衛隊は軍隊ではない、との詭弁は国際的に

はジョークにしか聞こえないのです。

第二次安倍内閣が組閣され、憲法改正がいよいよ現実味を帯びた時、物言えぬ自衛官たちはどれ程期待したかわかりになります。自衛官の子供が学校に行けば心無い教員に「自衛隊は憲法違反」だと教えられ、泣きながら帰ってくる、命がけで極限のレンジヤー訓練を終え駐屯地に帰任した自衛官に「迷彩服で街を歩くな」という横断幕で迎える、この異常な国ニッポン、どうか菅総理大臣におかれましては、この異常な状態を改善し、自衛隊を憲法に明記し、命をかけて国民の生命財産を守っている自衛官に名誉と誇りを与えていただきたい、衷心よりお願いするものであります。

昭和四十七年四月七日、十五歳

の私は自衛隊生徒三等空士の辞令を受け、自衛官の服務の宣誓を行いました。

「私は、わが国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し、日本国憲法及び法令を遵守し、一致団結、厳正な規律を保持し（中略）事に臨んでは危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務め、もつて国民の負託にこたえることを誓います」

遵守する、と宣誓した日本国憲法に自らの組織自衛隊、自衛官の存在を否定するような記述があるのです。

全国津々浦々、そして世界中でわが国の国益と国民の生命財産を守っている自衛官は、これについて発言することが出来ません。いや、自衛隊最高指揮官たるあなた様の命には絶対服従するのが自衛

隊、自衛官であります。

だからこそ、総理にとっては使いやすい組織なのだと思います。であれば、どうか、自衛隊、自衛官の存在を憲法に明記し、彼らに名誉と誇りを与えてください。それが、G7を含めた世界中の独立主権国家の「あたり前」です。

最近のあなたのお顔、目線を拝見すると大変お疲れのご様子です。官房長官だった菅さんの澁刺としたお姿とは別人のようです。問題をおひとりで抱え込まず、優秀な部下、閣僚を信じ、この国の舵取り役としてお力を発揮されましよう願ってやみません。お大事に。

敬具